

2024年10月15日

各 位

株式会社 三十三銀行

## 令和6年度「三十三ふるさと三重文化賞」の受賞者決定のお知らせ

公益財団法人三十三ふるさと文化財団（理事長：道廣 剛太郎）は、社会貢献事業として三重県の文化向上に顕著な貢献をされた方々を顕彰する目的で「三十三ふるさと三重文化賞」を贈呈し、その功績を讃えております。今般、令和6年度「三十三ふるさと三重文化賞」の受賞者を下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。

「三十三ふるさと三重文化賞」の贈呈は、平成元年度から始まり本年度で36回目となります。

今後も同財団では、県民文化の発展と潤いのあるふるさとづくりに、より一層努めることで地域文化発展のお役に立ちたいと考えております。

### 記

#### 1. 受賞者

##### (1) 個人の部

###### ■文学部門（小説）

松嶋 節 様 76歳

住所：津市

###### ■音楽・演劇部門（邦楽）

中井 智弥 様 45歳

住所：東京都（津市出身）

##### (2) 団体の部

###### ■美術部門（書道）

三重県書道連盟（運営委員長 平野 公鶴 様）

住所：桑名市

※受賞者の詳細につきましては、別紙をご参照ください。

#### 2. 表彰式

■日時 2025年1月25日（土） 午後1時30分より

■場所 四日市市文化会館第1ホール（四日市市安島2丁目5-3）

表彰式に続き、定期コンサート「宮本笑里ヴァイオリンリサイタル」を開催します。

表彰式・コンサートへの入場には入場券（無料）が必要です。

入場券の申込み受付は、10/21(月)9:00より三十三銀行ホームページ内セミナー・イベント欄にて実施します。 [https://www.33bank.co.jp/seminar/33furusato\\_20250125.html](https://www.33bank.co.jp/seminar/33furusato_20250125.html)

以 上

[お問い合わせ先]

担 当	三十三ふるさと文化財団 事務局 (三十三銀行経営企画部内)	太田・井坂	059-354-7187
-----	----------------------------------	-------	--------------

## 令和6年度「三十三ふるさと三重文化賞」受賞者

### ■文学部門（小説）

松嶋 節 様 76歳 住所：津市

小説「アアア・ア・ア」で小谷剛文学賞を受賞。規範と常識を超えた新鋭作家として注目されています。また三重文学協会の理事として毎秋開催の三重県民文化祭の文学部門の運営に尽力しています。鈴鹿市の「齋藤緑雨文化賞」の選考委員、愛知県を中心にした「中部ペンクラブ」の文学賞運営委員長を務めるほか、四日市の文章集団「XYZ」や津市の「文学研究会」の指導、文芸同人誌『文宴』主宰を務めるなど、文学の発展と後進の育成に貢献。県の「ジェフリーふえすた」では女性の活躍を文学作品から紹介するなど、男女共同参画への関心を深め、文学の裾野を広げる役割を果たしています。『津市民文化』（津市）編集委員として、また、『つ・ぶんか』にエッセイを掲載するなど地域文化の振興に努めています。

【主な受賞歴】平成17年度 三重県文化賞文化奨励賞



### ■音楽・演劇部門（邦楽）

中井 智弥 様 45歳 住所：東京都（津市出身）

東京藝術大学音楽学部邦楽科常英賞、津市文化奨励賞など多数の受賞歴があります。二十五絃箏曲の作曲家兼実演家として活躍する一方で、箏組歌を継承する「組歌の会」や、古楽器の研究会に継続的に参加するとともに、演奏会出演を継続して行っているほか、県内外の箏教室を主宰するなど、箏の発展と芸の継承にも努めています。また、国外で公演を多数開催しており、日本文化の発信を通じ国際交流にも尽力しています。県内においては、大学在学時より公演を継続して開催し、三重県高等学校総合文化祭日本音楽部門の審査員や明和町の特別観光大使を務めるなど、県内伝統音楽の普及や、三重県の魅力を内外に発信することに貢献しています。さらに、児童向け楽団「ジュニア和楽器楽団」の活動支援を行うなど、次世代に演奏技術を伝え、県内の伝統芸能の発展に寄与しています。

【主な受賞歴】平成27年度 三重県文化賞文化奨励賞



### ■美術部門（書道）

三重県書道連盟（運営委員長 平野 公鶴 様）住所：桑名市

県内書道芸術の研鑽や発展・振興を目的として昭和27年に設立され、現在は470名程が在籍し、会派の垣根を超えた県内最大の書道団体として、書道文化の向上・発展に寄与しています。平成24年には約3,000点もの作品を集め、県内初の『小、中、高、特別支援学校などの官民合同展覧会』を成功させています。また、長年にわたり会員が幅広い知識を身に付けるために書道や文化の知識人を迎えての講演会を実施するとともに、県民に向けては、篆刻部門の連盟役員による印章の作成指導、小中学生の大文字体験のワークショップや出前授業を行うなど、県民が書道に触れる機会を提供し、県内書道文化の振興、向上に大きく貢献しています。

